



新鮮・安心
地物がいいね

消費者にとって、地元の顔見知りの人が作ったり、獲った物であれば、安心感が高まります。一方、生産者も消費者が地域の人ということもあり、また、買っていくようすがうかがえることなどから、



「地元生産―地元消費」を略した言葉で、「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味です。



輸入農林水産物の増加や、食生活の多様化によるファーストフードなどの調理済食品への依存が高まるなど、「食の大切さや農林水産業に対する理解が薄れ、消費者と生産者との距離が離れてきています。また、BSE（牛海綿状脳症、狂牛病）の発生や、食品偽装、輸入食物の農薬問題など、「食への不安も増えています。」

このような状況の中で、鳥取市では消費者・生産者・流通業者など、地域が一体となって協力し、地元の新鮮で安心な農林水産物が提供できる「地産地消」を展開し、元気な地域づくりを目指します。

さらに喜んでもらえる物を提供しようとする生産者意識の向上につながります。

これらのことから、消費者と生産者との信頼関係が生まれ、新鮮で安心そして流通経費がかからない安い食物が購入できるようになります。そして、消費が拡大し、生産流通が元気になり、地域の活性化が期待されます。



ふれあい市は地域で大人気